

# 森 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



## 流山市議会議員

1月30日に流山市の除染実施計画(案)が示されました。様々な議論があり、対立や紆余曲折もありましたが、これからはこの計画を精査し、磨き、生かす。そして、少しでも早く原発事故前の状態に戻す。今こそ、市民、議会、行政が叡智を結集していく段階です。自治基本条例をもつ自治体として真の姿が問われていると思います。

## 2月号(駅頭・WEB用) 森りょうじリポート。(56号)

流山市除染実施計画(案)が発表されました。

### 平成24年第1回定例会(3月議会)日程

2/16 3/21の日程で開催されます(予定)。今議会は来年度予算を審議する特別委員会が設置され、税金の使用用途・目的を審議します。

なお私の一般質問登壇日は2月24日(金)を予定しています。傍聴もしくはインターネット中継でご覧になることができます。(詳細は議会HPをご覧ください)

### 2012年1月の足跡

「議員は普段何をしているの?」といったお声を頂きます。誌面では限りがあるため、ホームページなどを通じて動向をお伝えしておりますが、より身近に感じていただくために1月の足跡(公務等)を紹介します。

- 1月7日...流山市内商工会賀詞交換会
- 1月8日...成人式(来賓出席)
- 1月13日...建設委員会協議会(条例案調査)
- 1月14日...消防出初め式
- 1月16日...広報広聴特別委員会(広報改革)
- 1月17日...会派政策会議/友好都市締結祝賀会
- 1月19日...議会運営委員会/商工会勉強会
- 1月20日...市民参加条例特別委員会
- 1月27日...議会視察対応/広報広聴特別委員会
- 1月30日...議員研修会/建設委員会協議会

地方議会の存在意義が問われる中、流山市議会は近隣市の倍に近い議論(時間)を重ねています。上記以外は議員個人の活動となり、例えば陳情対応、勉強会の参加、ポスティング作業、ミニ集会を行っており、その中で皆さんの声も積極的に伺っています。

1976年6月12日流山生まれ(35歳)

サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

2000年4月 大成建設株式会社に入社

2003年4月 流山市議会議員に初当選(一期目)

2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)  
世界や日本の地方政治・地方自治を研究

2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選  
政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるか  
ではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味: 政治(人と語る・駅頭)・読書・ノミネーション

体型: 身長159.5cm・体重56.5kg

後援会事務所: 流山市中野久木559-2

討議資料

## 市長の政治姿勢について 情報社会を整理する

流山市から発信されている情報をどれくらい見られていますか？

最近、広報やホームページだけではなく、携帯メールや Twitter などを使って積極的な情報発信に務めています。

一方で、市民の皆さんの声として、情報発信の不足を指摘する声（例えば に関して知らない...といった声）が目立っており、この差を埋める工夫が必要です。

全国的に流山市は他の自治体と比較して情報公開が進んでいる先進市との評価があります。（民間団体の評価で全国1位）

これに関しては、皆さんはどのような感想をお持ちになられますか？

なぜかと言えば、このような（業界的）評価が市民の皆さんの実感に変わらなければ、まったく意味をなさないものであり、かといって市が取り組む情報公開の姿勢を市民の方々も前向きに評価しなければ、“(情報に関する)市民と行政との信頼関係”が構築されることはありません。（もちろん議会・議員も同様です）

行政に関する情報社会はどのようにあるべきか…。私の質問の切り口は、“有意義な情報化社会”の構築に向けて、行政はより一層の情報発信媒体の活用を心掛けると共に、受け手である市民の皆さん側には情報と上手に向き合う(付き合う)ためのルール作りを行ってはどうか、というものでしたが、市長答弁では、条例（ルール）づくりに伴う効果が図りにくく、現在のところ予定がない。ただ、より一層、発信方法に工夫を重ねたいとのことでした。私自身ももう少し掘り下げていきます。



積極的に情報発信をする流山市(公式HP)

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 公共工事対策について 事前周知の徹底と“公共工事の見える化”

### 公共工事を始めると不満が出る？

市民の皆さんが望む街のインフラ整備として公共工事(道路・駅周辺・上下水道など)があります。そのような声を受けて取り掛かる工事ですが、**着工すると思いの外に不満やクレームは多い**ものです。その改善策に向けて質問を行いました。

現在は施工場所周辺の自治会内に回覧をまわしたり、当該場所に看板を設置したりしています。ただし、**周知方法の基準がないため、工事ごとに周知方法にバラつきがあり、その後、個々人から出るクレームに個別対応をする**といった状態です。

皆さんのための“公共工事”。よりスムーズに行うためには、市民目線での周知方法の基準を定め、より多くの皆さんに見ていただくための環境整備が必要とのことから、事前周知の方法(ルール)づくりを促しましたが、この点に関しては消極的な答弁でした。改善策が待たれます。

### 江戸川台駅・おおたかの森駅の事例

地域の事例を見ますと、改修工事が始まった運河駅には着工前よりパース(完成イメージ図)が掲げられており、駅利用者などには完成予定の将来像が共有されています。

一方、江戸川台駅西口やおおたかの森駅西口(暫定ロータリー)の改修事業は周辺自治会への回覧や説明会実施という従来の方法しかとらなかったため、工事開始後、私のところには不満が多く寄せられました。その他、市内をみても、中規模以上の公共工事は将来像をより多くの方に示す“**公共工事の見える化**”を更に進める必要がありそうです。



江戸川台にも設置されました！

【連絡先】 TEL & FAX: 7155 3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp